着シ

テ

居ル此種冠

二次蒴

ノ開

裂っ

ョリ地上ニ散落セル許リノ新鮮ナ

コトヲ左ニ

字

半バヲ超エ白質膨軟

デ態

ト種子ニ取附ケタカ

ノャウデ如何

= v

モ意味

アリ氣

ご見

工,

ρ

予

テ

此

サ

テ觀

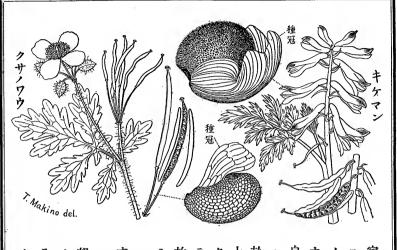
n

泰 ^ 変戰國ノ一草花ガ其敵國ノ首都ニ於ラ其屬ノ「女王」ニ擬セラレ居タル 西二 テ文外三年ニ當 喧 ž 力 IJ シ Æ , N 即チ ナ n タ知 七隻ノ英艦 w 二足 ラン敷、 ト島津久光トガ鹿兒島灣頭ニ 因 = 此 書 出 版 セ ラ 砲火ヲ交へ Z 'n 크 ㅏ 紀 元千 7. Þ 百六十三 n , 時 ナリ 车 艻 將 チ 軍家茂 知 此時 治 世

)興味ヲソヽル蟻ノ種子運搬

すみれ(が科)つるにちにちくわ(がう科)弁ニたかとうだい(だが科う)ナドノ諸属植物ノ種冠(Caruncle)アル種子ガ かんあふひ(デくさ科)ぶたのまんちら(さう科)ゆきのはな(ひがん)おほやまふすま(これし) 血根草 (おし)くさのわう ノきけまん(Corydalis platycarpaMaxino.)トくさのわう(Chelidonium majusLinn.)トノ種子ニ就 『メニ運バレテ其種冠ガ彼等ノ食物ニナルコトハ疾クニ西洋ノ植物書ニモ見エ 記シテ見ヨウト思フ此兩植物ノ種子ニハ次ノ圖ニアル様ニ其臍部ニ誠ニ不似合ニ 帝國駒場農園主 モノニ就 テ居ル所デアルガ予ハけし 田 ト特ニ 中 顯著デアッテ其大 貢 大キナ種 テ親 **≥** ク實驗シ 冠 ガ 上同 附

色ヲ帶ベル炭黑色デ全形圓味ガヽリシとびいろけあり(Formicina nigra L.)ト長サ一分未滿漆黑色長形短肢 ノくろくまあり(Formica fusca japonica Morscn.)、くさのわらノ方ハ之ョリ更ニ小サキ種類デ長サー分餘、 テテ いろしはあり(Tetramorium caespitum L.)トガ主トシテ運搬シ 植 物 、方ニ搬 ッテ見ル 種子ヲ採收セ F, 行キ ト無數ノ蟻ガ諸方カラ蝟集シ來リ紙面 ッ ンガ爲メニ ァ ルヲ目 撃シタ、 蒴ノマ、多數採リ來リ庭前 シテさけまんノ方ハ庭園圃場等ニ最モ普通 ニ 飛散セ のノ日向 ル種子ノ種冠ノ部ヲ啣へ(日向ニ新聞紙ヲ敷キ其上ニ ツヽアッタ爾來 此現象二與味 長サ二分內外 (各自必ズ一個 乾カシテ置 ラ威 ・時々注 1 デ炭黑色 ヅ タ暫 意 ŋ



於 土 ₹ 搬出 像スル、 種 形 テ 力 冠 結 テ ス w 植物 放棄 蟻 モ 果次 同 思 ラ 同 n J. ヲ ス クヲ蟻 簇生 樣 見 间 Æ んかとう 更其 從來日 觀 ヲ F. n ノ種子ヲ實 現象 去 ラ ŀ 喰 ŀ 特 見 孔 ラ 間 ッ 本産 ŕ 泛 y ッ = w ガ x 端 興 蟻 貯 7 ス 好 確 7 毛 ャ ` 味 驗 藏 種 往 ゥ n ャ n A L = 名稱 過ギ 冠 A. デ ガ ゥ ガ 植 ス 屬 ダ **≥**⁄ モ **≥**⁄ 現象 ラ タ後 此 7 ャ デ テ ス 7 物 7 地 ゥ N ガ ŀ ij バ 植 ヌ ŀ 就 見 上 就 ŀ ケ 以 着 植 テ ガ H. 同 物 = | 其種 此 出 Ŀ テ ジ 思 v 廢 シ 注 物 工 テ ッ 露出 我日 意 來 フ ۴, 物 ク タ (〓)きけまん 、上 矢野 單 實 面 際 面白 Æ ダ モ セ 稚 ラ確 本 其 シ 苗 ダ N シ 口宗幹 居 斯學 觀 + きけまん 種 ガ 他種子ニ = = ガ 列舉 蟻 察 現象ヲ觀 子 ナ モ普通ニ 始 孔 N 得 巢 Æ 此 ヲ 君 シ シ 此 3 ダ IJ 圍 Z ャ 兩 タ中ノかんあふひ 種冠ヲ有 献 事 トく 畢 リ 種 一得ラル 土 察シ 竟 \Box さの 篤 實 ŀ テ ス さの 抵 ŀ 共 城 予 ナ 得ラ 共 孔 廓 7 ガ 5 此 巢 喞 ス D ヲ 孔 筡 其 如 圃 力 n 5 中 示 = ij ŕ ラ + 周 旦 猛 モ 內 モ ヲ ッ 盛 圍 烈 蟻 ナ 才 於 シ